

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

2020年 3月 29日

1級受検番号 NO 04F3620073 氏名 石田健一 (愛知県在住)

■ 1級技能士を目指したきっかけ
<p>・7年間、キャリアコンサルティングを実践してきましたが、今の面談レベルでよいのかと自問自答するようになっていた矢先、「一緒に一級を受けないか」という親友の誘いがありました。これはいい機会だと思い挑戦することにしました。</p>
■ 当初の勉強法
<p>・受験すると決めましたが、どうやって勉強したらよいのか、全く見当が付きませんでした。まずは学科をと、一級の過去問で仕事の帰りに二人で挑戦し何とかメドはたちました。しかし、論述や面談となると皆目わかりません。親友は名古屋の勉強会を探しましたが、私は本格的講座を受けようと思い、大阪での「一級合格キャリア塾」を受講することにしました。</p>
■ 合格のきっかけ
<p>・一回目の受験は、学科は合格しましたが、論述、面接は55点台と不合格でした。2年目は「1級キャリアコンサルティング技能士の会」主催の関係講座受講、及び、教本購入での自習など徹底的に挑戦しましたが、受験の点数は一回目と同じで不合格でした。3回目の挑戦はやるかどうか迷いましたが、「もうこれが最後」と決断し「キャリア塾」に通いました。昨年末からは、自分の部屋に「一級合格必達」と張り紙を貼り、これを眺めながら挑戦。今、大事だと思うことは「何のために挑戦するのか」との自問自答、及び、面談において、「自分らしいスタイルでやろう」と決めたことだと思います。</p>
■ 学科試験の勉強
<p>・過去問4回分(200問)を、正解、不正解でなく、なぜ、そうなのかを納得のゆくまで、学習しました。</p>
■ 論述試験対策
<p>・講義時間では、理解は出来ても、答案をうまく書くところまではいけません。1級キャリアコンサルティング技能士の会の「論述添削」講座が非常に役に立ちました。</p>
■ 面接試験対策
<p>・講座における講師の明快なお話で、大事な基本を徹底的に学びました。 ・面談実践は、しっかりした振り返りつきの「面談練習」を何回も何回も行うことが大事だと思います。あらゆる機会を利用して。 大阪のキャリア塾のメンバーで行った、1日3回受検者役ができる練習会は有意義でした。</p>
■ 受検される方へメッセージ
<p>・私は75才での合格です。年齢はあまり関係がないようです。やる気が大事です。 ・「何のために試験を受けるのか」今、私が思っていることは 「目の前にいる方の、大切な生涯キャリア形成に役にたてるスキルを目指す第一歩として」 ・講師から言われた「守・破・離」の「離」を目指して「自分らしいスタイル」へ ・本番の面接の時は「相談者」に徹底的に寄り添って面談を進めてください。</p>